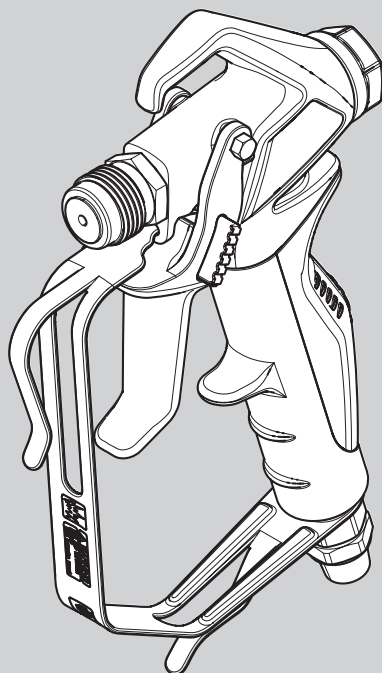


WAGNER



ベクターグリップ エアレススプレーガン 操作説明書



- ベクターシリーズのチップ取付口は**G-ネジ(7/8")**です。
- **F-ネジ(11/16")**のチップボディ、アクセサリーを使用する場合は、同梱されている**専用アダプター**（製品コード 0553300）を取り付けます。
- チップボディ、アクセサリーの一覧は、9ページ「アクセサリー」の章を参照してください。

安全規定



安全第一！
各地域で適用されている、安全規定に従ってください。



注意：注入によるケガの恐れ！
エアレス装置は極めて高圧なスプレーを生じます。圧力のかかったスプレーは重大なケガの危険性があります。

スプレーによる負傷の際は、絶対に普通の切り傷と同じような処置をしてはいけません。塗料や溶剤によって皮膚を負傷した場合は、ただちに病院に行き、専門医の治療を受けてください。そのとき、使用した塗料や溶剤を医者に知らせてください。

本スプレーガンの最大作動圧力は 25 MPa / 250 bar です。

- ・ スプレーガンを絶対に自分の体に向けない。
- ・ 身体の部位がスプレーにかからないようにします。ホースからの材料漏れに直接触れない。
- ・ ガンの前に手を置かない。安全手袋を着用していても注入によるケガの恐れは完全に防げません。
- ・ スプレーガンを絶対に他人、動物に向けない。
- ・ メンテナンス、洗浄、チップの交換および作業の中断時は、常にスプレーガンのトリガーをロックします。電源／エンジンをストップし、スプレーガン、装置から残圧を抜きます。電源／エンジンをストップするだけでは、圧力はリリースされません。（スプレー装置の操作説明書を参照）
- ・ スプレー作業は必ずスプレーガンのチップボディをつけて行います。チップボディは安全防護の役割を多少持ちますが、主に注意喚起のために使用されます。
- ・ フラッシング、洗浄作業の前には、チップを必ず外します。
- ・ 塗料ホースは摩耗、ねじれ、その他乱用により漏れを発生する可能性があります。毎日ホースを点検します。
- ・ スプレーガンのトリガーやチップボディが故障している場合は、スプレーガンを使用しない。
- ・ チップ、ガン、エクステンション、ホースを含む全ての付属品が最大作動圧力に対応できることを確認します。



警告：爆発または火災！
深刻な傷害や損傷を人や物に与えることがあります。

- ・ 漂白剤または塩素を含んでいる材料を使わない。
- ・ 漂白剤、防カビ剤、塩化メチレン、1,1,1-トリクロロエタンのようなハロゲン化炭化水素溶媒を使わない。それらはアルミニウム素材に対応していません。
- ・ 使用する材料がアルミニウム素材に対応しているかどうかは材料メーカーにお問い合わせください。



警告：その他の安全規定
重大な負傷事故・器物破損を引き起こす可能性があります。

- ・ 装置を使用する前に操作説明書の安全規定を熟読します。
- ・ 作業エリアに火や、火を付けたタバコ、赤熱したワイヤー、高温の表面、研削切断による火花などの引火源がないことを確認します。
- ・ スプレー作業中は、保護マスクを着用します。保護マスクが使用するコーティング剤に対応することを確認します。皮膚を保護するため、防護服や安全ゴーグル、手袋、場合によっては皮膚保護クリームが必要です。準備、作業、装置の洗浄を行う際は、使用している塗料、溶剤、洗剤のメーカーの処理規定に従います。

- ・コーティング剤の容器や包装材、または同梱の資料に記載されている取扱上の注意を参照します。
- ・各地域の規定に従って換気装置を設置します。
- ・スプレーされる被塗物は必ず接地します。
- ・毎回、使用前に必ずすべてのホースの損傷、漏れ、摩耗、膨らみ、カップリングの損傷を確認します。いずれかの兆候が見られる場合、ただちにホースを交換します。
- ・高圧力でスプレー作業する場合、トリガーを引くとスプレーガンを持っている手に大きな反動があります。そのため、洗浄の時にはチップを外し、圧力調整を最低圧力まで下げます。
- ・メーカー正規品、推奨品のみを使用する。他社製の付属品および交換部品を使用した場合、安全規定を満たすことができません。また、製造物責任の一部または全部が無効になります。



防爆マーク

X マーク：

本スプレーガンは Ex II 2G IIC c T6 X に準拠し、欧州指令 2014/34/EU に定義されている、爆発エリア（ゾーン1）での使用が可能です。

スプレーガンからの放電は、帯電性の高圧ホースを通して、接地された高圧ポンプへ流れます。

最高表面温度は許容材料温度に相当し、許容材料温度と許容周辺温度は技術データの章で確認できます。

装置が金属物と接した場合、スパーク（発火）の恐れがあります。爆発環境下では装置の落下、衝撃に注意してください。

残存リスク

残存リスクは、正しく使用していても排除できないリスクのことです。

必要な場合、残存リスクは警告表示と禁止表示で示されます。

残存リスク	原因	結果	具体的対策	起こりうる段階
注入によるケガ	流体の高圧スプレー	深刻なケガ、切断	スプレーガンを自分の体に向けない	準備中、作業中
爆発、発火	静電、スパーク	深刻なケガ	十分に換気されたエリアでの作業 スプレーガンの接地	作業中
溶剤蒸気の吸引	使用材料からの蒸気	深刻なケガ	十分に換気されたエリアでの作業 保護マスクの着用	作業中

技術データ

最大スプレー圧力	25 MPa (250 bar)
ホース接続部	NPSM 1/4" (M16 x 1.5)
ディフューザーねじサイズ	G 7/8 - 14 UN-2A
塗料通過経路の素材	鋼、アルミニウム、PTFE、硬質合金
作業環境温度	5°C ~ 40°C
最大材料温度	43°C
最大騒音レベル	81 dB(A)*
重量	663 g (1.4 lb.)

* 測定値：コーティング表面から 0.5 m の距離、スプレーガンから 0.5 m 後方、スプレー圧力 12 MPa、チップサイズ 0.021

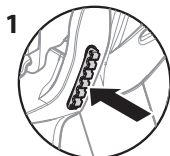
はじめに

本エアレススプレーガンは液体コーティング剤の高圧霧化に使用します。

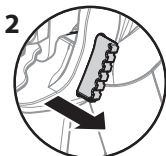
安全（トリガー）ロック

ガンを使用していない時は、常にガンの安全（トリガー）ロックをします。

1. ロックするには、ガン後方から見て、トリガーロックを左から右に押しします。
2. ロックを解除するには、ガン後方から見て、トリガーロックを右から左に押しします。



1
ロック
(スプレー不可)



2
ロック解除
(スプレー可)



スプレーガンを絶対に自分の体や他の人に向けない。

作業準備

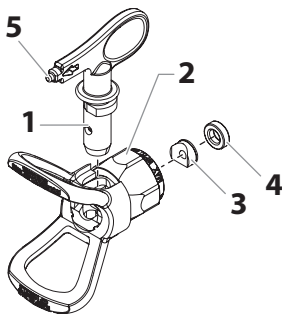


ガンの組立、チップ交換、洗浄の前に必ず圧力リリースを行うこと。スプレー装置の操作説明書を参照。



注入によるケガ・事故防止のため、常にチップボディを使用する。チップボディは絶対に切り落とさない！ガンを使用していない時は、常にガンの安全（トリガー）ロックをする。操作説明書のすべての注意事項を確認する。

1. スプレー装置を準備します。（スプレー装置の操作説明書を参照）
2. 接地した塗料ホースをガンのホース接続口に取り付けます。2つのレンチを使ってしっかりと締めます。
3. チップとチップボディを取り外した状態で、スプレー装置を起動させます。スプレー装置の操作説明書に従って、フラッシングし、すべての接続部分から漏れがないか確認します。
4. スプレー装置の操作説明書に従って、圧力リリースを行います。
5. チップハンドルの先端 (5) を利用して、チップシール (3) とシールパッキン (4) をチップボディ (2) 後方に取り付け、最後まで押し込みます。
6. チップ (1) をチップボディのスロットに挿入します。



- チップボディをガンに取り付けます。チップボディの向きを必要なスプレーパターンの方向に調整し、しっかりと締めます。



チップハンドルの矢印はスプレー方向を表しています。

作業

- チップハンドルの矢印がスプレー方向に向いていることを確認します。
- スプレー装置を作動します。(スプレー装置の操作説明書を参照)
- スプレーが完全に霧化されるまで、スプレー装置のスプレー圧力を調整します。



チップはスプレーパターンの幅を決定します。より幅広いパターンが必要な時は、スプレー圧力を上げるのではなく、より大きなチップを使用します。

- チップの詰まりを解消する：
 - チップを 180° 回転させ、チップハンドルの矢印がスプレー方向と反対になるようにします。
 - ガンのトリガーを一回引き、詰まりを圧力で吹き出します。



Attention

チップを回転させた状態で、トリガーを2回以上引かない。

- チップの詰まりが解消されるまで、この手順を繰り返します。

チップ交換

ガンを分解しなくても、チップの取り外しと交換が簡単に行えます。

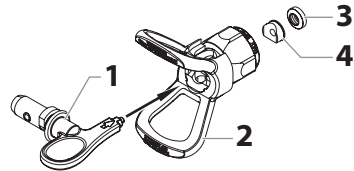


チップの交換、洗浄の前に必ず圧力リリースを行うこと。スプレー装置の操作説明書を参照。

- スプレー装置の操作説明書に従って、圧力リリースを行います。
- チップをチップボディのスロットから取り出します。
- 新しいチップをチップボディのスロットに挿入します。チップハンドルの矢印がスプレー方向に向いていることを確認します。

チップワッシャーとシールの取り外し

- チップ (1) をチップボディ (2) のスロットから取り出します。
- チップハンドルの先端をチップボディ前方に取り付けます。
- シールパッキン (3) とチップシール (4) をチップボディから押し出します。



チップ選定について

チップ選定について、以下の例を参照します。ここでは、チップサイズ“517”を使用します。

最初の1桁はパターン角度を表します：

$$5 \times 10^\circ = 50^\circ \text{ パターン角度}$$

次の2桁はチップ口径を表します：

$$17 = 0.017" \text{ (インチ) チップ口径}$$



摩耗したチップはスプレーパターンに影響し、スプレー品質の低下や材料の無駄な消費につながります。摩耗したチップはすぐに新しいチップと交換します。

洗浄

快適な作業には、洗浄された綺麗なスプレーガンが不可欠です。使用後は毎回フラッシングし、乾燥した場所で保管します。スプレーガンの水や溶剤に浸けたままにしないでください。



以下は可燃性の溶剤を使用して洗浄する時の注意事項です：

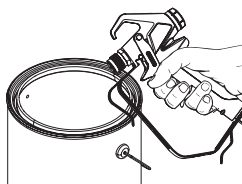
- ・常にスプレー装置からできるだけ離れた状態でフラッシングします。
- ・可燃性蒸気が存在しないエリアで作業します。



スプレー装置、ホース、スプレーガン、ガンフィルターは、使用後毎回しっかり洗浄すること。洗浄を怠ると材料が固着し、装置の作業性を著しく低下させます。



チップとチップボディを外した状態では、常にできる限り低い圧力でスプレーすること。スプレーガン、ホース、スプレー装置の洗浄には、水または適切な溶剤のみを使用すること。可燃性蒸気が存在するエリアでは、静電気の帯電により火災や爆発の危険性があります。フラッシング中は金属製容器に対しスプレーガンをしっかりと固定すること。



メンテナンス

本操作説明書の安全規定に従い、メンテナンスを開始します。



各部品の名前、位置については、本操作説明書の部品リストで確認できます。

ボール弁セットの交換／メンテナンス

スプレーガンのトリガーをリリースした時に、チップ先から漏れやスピットが見られる場合は、ボール弁、またはボール弁セット全体を交換し、ディフューザーシートを反対にします。

ボール弁を交換するには、ボール交換キット（製品コード 0538227）を注文します。

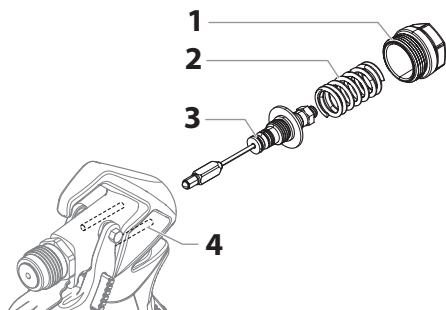
ボール弁セット全体を交換することも可能です。

以下の手順に従い、交換します。



メンテナンスの前に必ず圧力リリースを行うこと。スプレー装置の操作説明書を参照。

1. スプレー装置の操作説明書に従って、圧力リリースを行い、塗料ホースをスプレーガンから外します。
2. 後部ハウジング (1) とパッキンスプリング (2) をガンハウジングの後方から取り外します。
3. ラチェットレンチ 3/8" を使って、ボール弁セット (3) をガンハウジングの後方から取り外します。



4. 取り外した部品を適切な溶剤に浸け、きれいにふき取ります。
5. 部品の摩耗や損傷がないかチェックし、必要な場合新しい部品と交換します。



組立前にすべてのパッキンと可動部にグリースを塗布します。

- ガンハウジング内の2つのスライドピン (4) が正しい方向にあることを確認します。
- ボール弁セットをガンハウジングの後方から挿入し、手で止まるとこまで締めます。
- ラチェットレンチ 3/8" を使って、ボール弁セット (3) をしっかりと締めます。
- パッキンスプリング (2) の両端にグリースを塗布し、ガンハウジング内のボール弁セットに被せます。
- 後部ハウジング (1) をパッキンスプリング (2) に被せます。
- 手で後部ハウジング (1) をガンハウジングに押しつけながら締めます。レンチを使ってしっかりと締めます。

ディフューザーシートを反対にする

- レンチを使ってディフューザーをガンハウジングの前方から取り外します。
- ディフューザーのOリングをガンハウジングの前方から取り外します。
- ディフューザーシートをガンハウジングから取り外します。ディフューザーシートをひっくり返し、ガンハウジング内に再び取り付けます。
- ディフューザーのOリング、ディフューザーをガンハウジングに再び取り付けます。

フィルターの交換／取り外し



ガンフィルターは、使用後毎回しっかりと洗浄します。

- トリガーガードの上部をガンハウジングから外します。
- トリガーガードの下部をレンチとして使用し、ハンドル部を緩めて、ガンハウジングから取り外します。
- ガンフィルターをガンハウジングから取り外し、洗浄または交換します。
- 新しいガンフィルターをガンハウジングに差し込みます。(ガンフィルターの細くなった方がガンハウジング側)
- ハンドル部をガンハウジングに取り付けます。トリガーガードでしっかりと締めます。
- トリガーガードの上部をガンハウジングに引っ掛けます。

フィルターの種類

製品コード	用途	種類	色
0034383	合成樹脂、エナメル、ワニス、ステイン、ラッカー	細目	赤
0043235	下塗り塗料、プライマー、トップコート、フィラー、プラスチック	中目	黄
0034377	エマルジョン、ラテックス、アクリル塗料	粗目	白
0089323	大面積	極粗目	緑

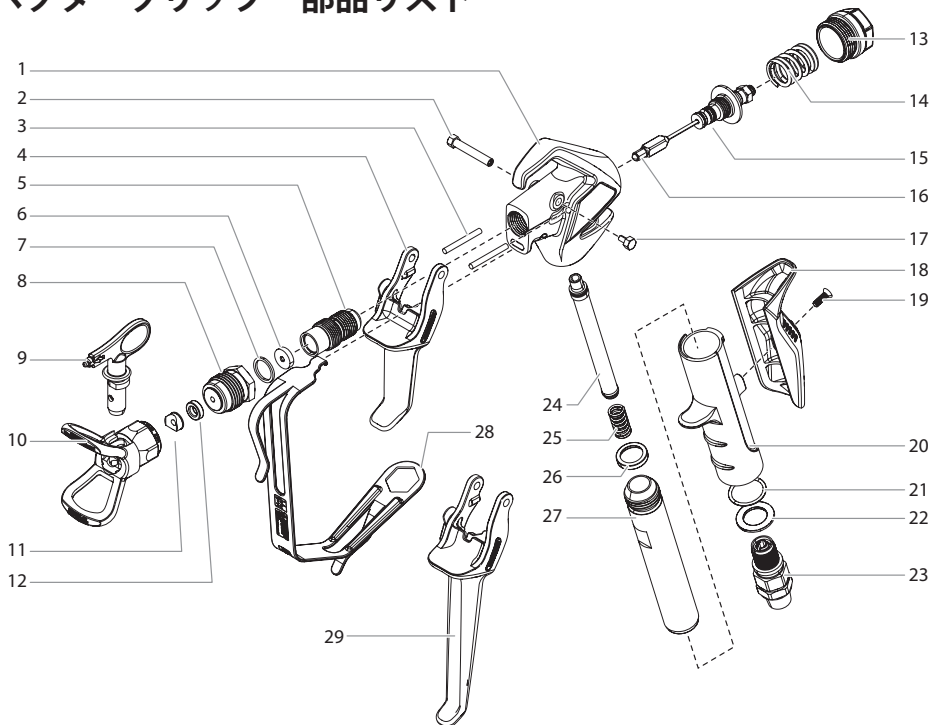
アクセサリ



F-ネジ(11/16")のアクセサリを使用する場合は、同梱されている専用アダプター(製品コード 0553300)を取り付けます。

製品コード	製品名	ネジタイプ
0553300	F-ネジアダプター	-
0289390	トレードチップボディ G-ネジ	G (7/8")
450-100A	タイタンチップボディ G-ネジ	G (7/8")
0556040	トレードチップボディ F-ネジ	F (11/16")
450-300	タイタンチップボディ F-ネジ	F (11/16")
0538228	ハンドルグリップ、S	-
0538230	ハンドルグリップ、L	-
2999320	延長ガンキャップ 15cm	F (11/16")
2999321	延長ガンキャップ 30cm	
2999322	延長ガンキャップ 45cm	
2999323	延長ガンキャップ 60cm	
96015	延長ガンキャップ 回転ジョイント付 100cm	F (11/16")
96016	延長ガンキャップ 回転ジョイント付 200cm	
96017	延長ガンキャップ 回転ジョイント付 300cm	
97020	回転ジョイントセット	-

ベクターグリップ 部品リスト



Pos.	製品コード	名称
1	-----	ガンハウジング
2	0538306	トリガーシャフト
3	0538305	スライドピン (2)
4	0538224	トリガーセット、2-フィンガー (項目 2, 17 を含む)
5	-----	前方ハウジング
6	594-033	シート
7	594-006	O-リング、ディフューザー
8	0538322	ディフューザー G 7/8"
9	0553xxx	*別売 トレードチップ3 (項目 11, 12 を含む)
10	0289390	トレードチップボディ G 7/8"
11	0297007	チップシール
12	651-020	シールパッキン
13	0538323	後部ハウジング
14	0538324	パッキンスプリング
15	0538204	ボール弁セット (項目 16 を含む)
16	-----	ボール弁
17	580-513	トリガーシャフト止めねじ

Pos.	製品コード	名称
18	0538229	ハンドルグリップ、M (項目 19 を含む)
19	9805470	ねじ
20	0538315	ハンドル
21	0538342	O-リング
22	0538337	ワッシャー
23	0538205	スィベルジョイント
24	34377	ガンフィルター、粗目
	89323	ガンフィルター、極粗目
	43235	ガンフィルター、中目
	34383	ガンフィルター、細目
25	0296343	フィルタースプリング
26	560-038	シールパッキン
27	0296344	ハンドルチューブ
28	0538320	トリガーガード
29	0538222	トリガーセット、4-フィンガー (項目 2, 17 を含む)
	0538228	ハンドルグリップ、S (項目 19 を含む)
	0538230	ハンドルグリップ、L (項目 19 を含む)
	0538227	ボール交換キット (項目 16 を含む)

日本ワグナー・スプレーテック 株式会社
〒574-0057
大阪府大東市新田西町2-35

TEL: 072-874-3561

FAX: 072-874-3426

www.wagner-group.com

仕様・部品番号は予告なく変更することがありますので、
あらかじめご了承ください。